

平成20年 秋の叙勲・褒章

奥濱幸雄会長(元沖縄県商工会連合会副会長)が受章



奥濱 幸雄氏

去る11月3日(月)の文化の日に、平成20年秋の叙勲・褒章が公表され、その中で本会、元副会長の奥濱幸雄氏(現宮古島市伊良部商工会会長)が旭日双光章を受章した。奥濱氏は商工会連合会の副会長として、各種共済制度の普及と、県内商工業の総合的な改善発達を図り、地域経済の発展に寄与した実績が高く評価された。

県連合会では、昭和63年に監事に就任、その後、理事を経て平成九年に副会長に就任。会長の補佐役として国及び県の施策による経営改善普及事業を実施し、県内中小企業の育成と県経済の振興発展に尽力した。また、地元の伊良部では、行政当局及び関係機関等と連携を図り、伊良部町商工会を誕生させ、初代会長に就任し、二六年余りの長きに亘って会長の要職を務めている。

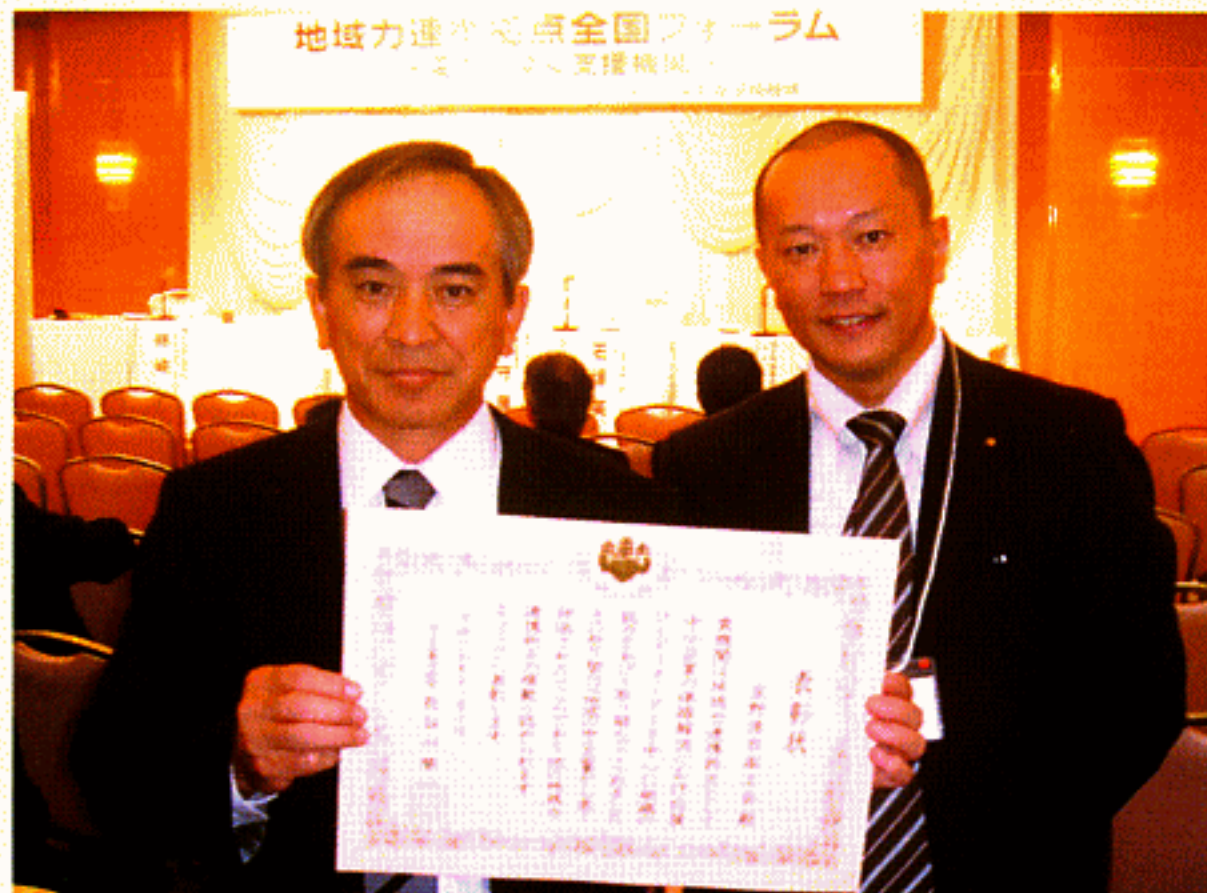
中小企業支援で好評価

宜野湾市商工会が全国トップ10、名護市商工会が総合事務局賞に

経済産業省は、12月3日、東京港区虎ノ門パストラルホテルで、中小企業の中核的支援機関として認定した全国316か所の地域力連携拠点のうち、利用者から特に評価が高かった全国10か所の拠点に、「優秀地域力連携拠点中小企業長官賞」を贈り、県内から宜野湾市商工会が選ばれた。経済産業局長表彰の部門では、沖縄総合事務局長表彰に名護市商工会が選ばれた。地域力連携拠点は、企業への支援機関や人材を繋ぎ合わせ中小企業の経営を支援するため、商工会などの団体を認定。5月末から全国一斉に事業を開始している。各拠点では中小企業の経営を指導するコーディネーターを配置。新事業展開や不振事業の立て直しなどの相談を受け、経営戦略構築を支援する。商工会では4か所設置されており、今回の表彰は、利用者に対し①リピート率②経営課題の把握や解決の状況③支援の成果についてアンケート調査を実施、併せて覆面調査員が各拠点で相談をし、電話対応、相談環境などの面から調査し、総合評価上位から選考している。宜野湾市商工会「小渡玠」会長は、「とても驚いている。経営革新セミナーを開き、SWOT分析など自社分析を図る取り組みが評価されたのではないかと受賞の喜びを語った。



名護市商工会連携拠点の相談風景



優秀地域力連携拠点中小企業長官賞に選ばれた小渡宜野湾市商工会長(左)と皆川相談員(右)